

ント学領域2021年度修了生)

「第二部」教育講演「パンデミックが引き起こした高齢者の健康や生活の変化」河合恒(東京都健康長寿医療センター研究所研究員)／「コロナ禍の労働者のメンタルヘルスの変化と今後の課題・対策」

佐々木那津(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部研究員)／特別講演「病院における新型コロナウイルス感染症——嵐の中で見た朝陽」櫻井隆之(NTT東日本関東病院感染症内科部長)

参加費 無料 ※事前申込が必要

申込方法 左記URLの公開講座ページより

東京医療保健大学大学院事務局 室公開講座係

〒141-8648

東京都品川区東五反田4-1-17

☎03-5421-7685

(平日9時～17時)

✉info-master@hcu.ac.jp

<http://www.hcu.ac.jp/research/>

第9回日本在宅栄養管理学会学術集会 (ハイブリッド開催)

日時 7月17日(日)～18日(祝・月)
開催形式 現地開催、オンデマンド配信

オンデマンド配信 7月25日(月)

8月25日(木)

会場 ホテルライフォート札幌北海道札幌市中央区

テーマ 在宅栄養ケアを地域へ拡充しよう——地域の保健・医療・福祉から栄養ケア・ステーションへつなぐ

プログラム

「7月17日(日)」在宅訪問栄養管理栄養士更新単位セミナー＊「在宅における食支援——食べるを支える、食べられないを支える」菊谷武日 本歯科大学教授／口腔リハビリテーション多摩クリニック院長

／在宅医療助成勇美記念財団特別講演＊「地域包括ケアシステムの展開——管理栄養士の貢献」田中滋(埼玉県立大学理事長)／2＊

「介護報酬の改定について」増田利隆(厚生労働省保険局医療課課長補佐)／3＊「これからの地域における在宅医療の展望と発展」

松家治道(北海道医師会会長)／教育講演1「在宅ケアから広がるプライマリ・ケア」草場鉄周(北海道家庭医療学センター理事長)

／2「在宅訪問栄養食事指導の実践1・2・3」花本美奈子(栄養ケアサポートリーナークのぼりと代表)

表／3「在宅緩和ケアにおける食支援」児玉佳之(佳生会)ごだま在宅内科緩和ケアクリニック理事長

長／4「暮らしの中で食を楽しむための姿勢——食べる姿勢と

食べることを継続できる姿勢を考える」下元佳子(ナチュラルハーフトフルケアネットワーク代表理事)／ほか

「7月18日(月・祝)理事長講演「人に寄り添う」在宅訪問管理栄養士にめざすには」前田佳子(武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科教授)／会長講演「在宅栄養ケアを地域へ拡充しよう——地域の保健・医療・福祉から栄養ケア・ステーションへつなぐ」真井睦子(栗山赤十字病院医療技術部栄養課)／シンポジウム1＊「地域共生社会のこれから」管理栄養士による在宅栄養ケアの役割」岡田晋吾(守一会北美原クリニック、牧野秀樹(秀和会)つがやす歯科医院、渡邊紀子(株式会社ライズリング総合施設長、

胸谷末季(守一会北美原クリニック看護師長、小川豊美(株式会社とよみ認定栄養ケア・ステーション)とよみ管理栄養士事務所代表取締役、齋藤郁子(サンシャイン栄養コンサルタント)／2＊

「栄養ケア・ステーション今後の展開」土晶智幸(稻生会生涯医療クリニックさつぽろ理事長、笠松信幸(日本介護支援専門員協会常任理事)、中川幸恵(北海道栄養士会会長、宮司智子(新都市研究会「君津」会南大和病院栄養部科長、澤田弘子(株式会社ク

リニコ 認定栄養ケア・ステーション「Let's smile」、上野俊(日本在宅栄養管理学会認定栄養ケア・ステーション責任者)／在宅医療助成勇美記念財団教育講演「コロナ禍におけるフレイル・サルコペニアと在宅リハ栄養」若林秀隆(東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授)／教育講演5「管理栄養士が行う論文作成——なぜ研究が必要なのか」本川佳子(東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム研究員)／6「在宅医療におけるCOVID-19——今後のパンデミックに備えて」塚本容子(北海道医療大学看護福祉学部教授)／ほか

※＊はオンデマンド配信プログラム

参加費 (来場事前登録) 正会員・賛助会員8000円 非会員1万2000円 学部生・大学院生1000円(当日来場登録) 正会員・賛助会員1万円 非会員1万5000円 学部生・大学院生1000円(オンデマンド参加登録) 正会員・賛助会員8000円 非会員1万2000円

※来場参加者はオンデマンド参加が無料。別途手数料、コンビニ決済・カード決済2200円(税込)がかかる。会員以外は抄録集は別

送10000円。学部生・大学院生は要学生証提示。

登録方法 下記URLの登録フォームより

✉info@clinical-phenomenology.com

問合せ事務局

〒171-0031

東京都豊島区目黒2-5-24

第二ビル 学際企画株式会社内

☎03-3981-7281

☎03-3981-7284

✉houken@gakusai.co.jp

<http://fjms-congre.jp/>

臨床実践の現象学会 2022年度研究 セミナー(Web開催)

日時 8月11日(木・祝) 13:30～16:40

開催形式 オンライン配信

テーマ 現象学的研究の世界へようこそ

プログラム 対談「現象学的研究を語り合う」アーカイブ配信あり(西村ユミ(東京都立大学)、村上靖彦(大阪大学)／対談の余韻を楽しむ交流広場「現象学的研究についておしゃべりしよう」(アーカイブ配信なし)坂井志織、細野知子、伊田裕美、池口佳子

参加費 15000円

問合せ事務局 研究セミナー担当

✉info@clinical-phenomenology.com

<http://clinical-phenomenology.com/archives/>

第16回日本慢性看護学会 学術集会 (ハイブリッド開催)

日時 現地会場 8月20(土)～21日(日)
オンライン配信 8月20(土)～9月19日(月)予定
会場 一橋講堂(東京都千代田区)
テーマ 生々死により生々慢性看護
——Toward a meaningful life
プログラム 会長講演「生々死により生々慢性看護——Toward a meaningful life」谷本真理子(東京医療保健大学)／基調講演「限りあるいのちを生きる慢性病者に寄り添う看護職のまなざし」哲学者からの応答 榊原哲也(東京女子大学)／招聘講演「The Experience of Chronic Illness : State of the Science Around Nursing Care Needs」Dr. Sally Thorne(リレーショナルロンドン大学)／特別企画「教えて先輩——慢性看護のバイオニアに聞く」川村佐和子(東京都医学総合研究所)／教育講演1「非がん疾患にひろがる緩和ケア研究」宮下光令(東北大学)／2「慢性病を持つ人と家族への支援——家族の力をとらえ、活かす」長戸和子(高知県立大学)

／3「病院、地域をつなぐこれらの情報システム——患者が賢く情報を活用するには」山口育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML)／シンポジウム「死を見据えながら生きることを支えるケア——病みの軌跡における下降期の観点からの学際的アプローチ」藤沼康樹(生協浮間診療所／医療福祉生協連家庭医療学開発センター)、仲村直子(神戸市立医療センター中央市民病院)、磯野真穂(慶應義塾大学)／2「慢性疾患患者のアドバンスケアプランニングの実装——現場での取り組みと課題」西川満則(国立長寿医療センター)、藤井利江(兵庫医科大学病院)、山本弥生(訪問看護ステーションハートパークはびきの)、竹川幸恵(大阪はびきの医療センター)、イブニングセミナー「住み慣れた地域で最期まで」を実現する看護の役割とマネジメント」柏木久美子(奥会津在宅医療センター)／一般演題(オンデマンド配信)／交流集会(現地会場、オンデマンド配信)
参加登録期間 (後期) 7月7日(木)～9月16日(金) 正午
参加費 (後期) 会員1万円、非会員1万2000円、学生(大学院生)8000円(前期後記共通)、(一般学生)3000円(前期

後記共通)

関 事務局 東京医療保健大学医療保健学部看護学科内
✉ info@hnc.ac.jp
「運営事務局」TULSA
✉ mansei16@yupia.net
☎ 050-8721-8101
(平日10～16時)
☎ 050-8721-7733-1
<https://mansei16.yupia.net/>

看護教育研究学会 2022年度研修会

日時 9月17日(土) 9:30～16:00
会場 日本大学文理学部本館1階
ラーニング commons (東京都世田谷区)

テーマ コロナ禍の体験から問う実践につながる看護学実習
プログラム プレゼンテーション
／アイスブレイク／ディスカッション／発表、コメント
話題提供者 山下美智代(筑波大学成人看護学)、今井充子(日本保健医療大学母性看護学)、菅谷智一(筑波大学精神看護学)、柴田滋子(東京医療学院大学在宅看護学)角智美(茨城県立中央病院)
参加費 会員無料、非会員3000円
定員 30名(先着順)
申込方法 下記WEBサイトにあり、申込書に必要事項を記入し、

E-mailに添付して送信
参加申込受付期限 9月2日(金)
関 看護教育研究学会事務局
✉ info@nhonkango.jp
<http://nhonkango.jp/seminar.html>

第16回看護教育研究学会 学術集会

日時 10月22日(土) 9:30～17:00(予定)
会場 日本大学文理学部百周年記念館2階国際会議場(東京都世田谷区)

テーマ 変革の時代における看護教育——学習者の「わかる」を導く教育
プログラム 学術集會会長講演「学生の『自己理解』を促す看護教育」関根正(獨協医科大学看護学部教授)／特別講演「『わかる』とは何か——『学ぶ』ということの探求」佐伯胖(公益社団法人信濃教育会教育研究所所長、東京大学名誉教授、青山学院大学名誉教授)／一般演題(口演・ポスター)
参加費 事前申込5000円、当日6000円、学生(大学院生を含む)1000円(学生証を提示)、弁当代1000円(お茶付)、要事前申込、希望者のみ
事前申込方法 郵便払込用紙の通信欄に必要事項を記入し、参加費

5000円を払い込む
事前参加申込期限 9月30日(金)
関 看護教育研究学会事務局
(入会、年会費等)
✉ info@nhonkango.jp
関 第16回学術集會事務局
✉ congress2022@nhonkango.jp
<http://nhonkango.jp/conference.html>